

「あなたってこんなにすてきだよ」のべんきょうをして

今日は、北九州市教育委員会が平成25年度に募集した人権作品の中から、北九州市門司区(もじく)の小学二年生、松永(まつなが)みゆうさんの『「あなたってこんなにすてきだよ」のべんきょうをして』という詩を紹介します。

本人の朗読でお聴きください。

『「あなたってこんなにすてきだよ」のべんきょうをして』
北九州市立大里柳(だいいりやなぎ)小学校二年 まつなが みゆう

グループの友だちが
わたしのいいところを
花びらに書いてくれた
字がきれいだね。
友だちにやさしいね。
べんきょうをがんばってるね。
いっぱい書いてくれたので
すごくうれしかった。
こんどは、わたしが
みんなのいいところを
たくさん見つけるよ
友だちってやさしくて
たいせつなだからもの

いかがでしたか。

「あなたってこんなにすてきだよ」は、小学二年生の道徳の授業で、お互いのいいところを教え合います。

自分のいいところを見つけるのはなかなか難しいものですが、友達から教えてもらうことで、思いもよらぬ自分の良さに気づくことがあるのかもしれないね。

みゆうさんは、友達から、たくさんのおすてきな言葉をもらいました。
それらの言葉は、みゆうさんの自信となり、まるで心に花が咲いたように
うれしい気持ちになったことが伝わってきます。
さらに、このうれしい気持ちを同じようにみんなにも味わってほしいと、
「みんなのいいところをたくさん見つけるよ」と返しています。

家族や仲の良い友達であっても、お互いのいいところを言い合う機会はそうそ
うありません。

相手を褒めるという行為は、学校や職場、家庭で、
大切なコミュニケーションの手段になるのではないのでしょうか。
お互いに認め合い尊重し合うことで、よりいっそう絆が強まることは間違いあり
ません。

「トム・ソーヤーの冒険」で知られるアメリカの小説家マーク・トウェインは、
「自分を励ます最上の方法、それは誰かを励ますようにすること」という言葉を残
しています。

誰かを励ますことは、自分への励みとなって返ってくるのかもしれませんがね。

あなたも、身近な人に相手を褒める言葉を掛けて、
コミュニケーションを深めてはいかがでしょうか。

では、また。